



令和 6 年 5 月 30 日

総合政策局国際政策課

国際交通フォーラム(ITF)交通大臣会合 2024 が開催されました。

5 月 22 日(水)～5 月 24 日(金)、ドイツ・ライプチヒで、ITF 交通大臣会合 2024 が開催され、「交通のグリーン化」をテーマに、議論が行われました。
日本からは、上原国土交通審議官が首席代表として出席しました。

1. 日 程 : 令和 6 年 5 月 22 日(水)～5 月 24 日(金)
2. 場 所 : ドイツ・ライプチヒ市
3. テーマ : 「交通のグリーン化」
4. 首席代表 : 国土交通省 上原国土交通審議官
5. 主なプログラム :
 - 5月22日 ウクライナに関する特別大臣ラウンドテーブル
 - 5月23日 大臣理事会、公開大臣会合、大臣ラウンドテーブル
 - 5月24日 パネルセッション
6. 結果概要 : 別紙のとおり

※国際交通フォーラム(International Transport Forum : ITF)は、OECD 傘下の国際機関で、69 か国が加盟しており、陸・海・空のすべてのモードにわたる交通政策について、議論や調査研究を行っています。毎年 5 月、ドイツのライプチヒにて、全加盟国が参加する大臣級会合が開催されています。

【お問い合わせ先】

総合政策局 国際政策課 : 馬路、浅野

TEL : 03-5253-8111 (内線 25907、25755) / 直通 : 03-5253-8312

会議の概要

1. ウクライナに関する特別大臣ラウンドテーブル

「ウクライナにおける交通の復興：連携した支援の枠組み」をテーマに、ウクライナの交通インフラの復旧・復興のために、各国や各機関が連携して支援を行っていくことについて、議論が行われました。

日本からは、これまでに総額 121 億ドルのウクライナ支援を発表して着実に実施していること、本年 2 月に東京で「日・ウクライナ経済復興推進会議」を開催して「インフラ復旧・復興に関する協力覚書」を締結したこと、先月、国土交通省職員がキーウを訪問し、航空、道路・橋梁の分野で協力の具体化に向けた事務レベルの議論を進めていることについて、発言しました。

2. 大臣理事会

主な議題と結果は以下のとおりです。

① 新規加盟国の承認

ドミニカ共和国、オマーン、サウジアラビアの新規加盟が承認されました。

② 議長国の承認

2027 年にチェコが議長国を務めることが承認されました。

3. 公開大臣会合

「交通インフラと世界的な連結性の復元にに向けた協力」をテーマに、議論が行われました。

日本からは、民間資金を活用して鉄道などの交通インフラの整備を行うことに関連して、人口密度が非常に高い地域では民間資金による鉄道インフラの整備が可能な場合があるが、適切な水準の運賃設定が重要であること、インフラを整備した後の適切な運営・維持管理も重要であることについて、発言しました。

4. 大臣ラウンドテーブル

「インクルーシブな交通：全ての人のアクセスの確保」をテーマに、議論が行われました。

日本からは、本年 4 月に、アクセス可能な交通に関する G 7 各国の政策集を取りまとめたこと、本年 7 月に東京で、ITF の協力を得て、ジェンダーと交通に関するセミナーを開催する予定であることについて、発言しました。



公開大臣会合に参加する上原国土交通審議官



公開大臣会合の様子